

提案書評価基準

(1) 評価方法

- ア 評価委員 1 人あたり 146 点満点とし、下記評価項目について評価を行い、合計得点の高い者を特定する。
- イ 提案内容及び実施体制のいずれかの評価項目の評価点が 1 点となった者は、原則として選定しない。
- ウ 評価委員が評価委員会を欠席した場合、その評価委員会の評価点は無効とする。
- エ 提案者が 9 者以上の場合に行う書類選考についても本評価基準により評価を行う。

(2) 評価点が同点の場合の措置

評価委員の採点の合計点数が同点の場合、次の順序で上位の提案をプロポーザルの上位者とする。

- ア 加重倍率が 4 の項目の合計得点が上位の者
- イ 5 点の評価点項目が多い者
- ウ 加重倍率が 4 の項目に 2 点以下の評価点が無い者

	評価項目		ねらい・着眼点	点数	倍率	満点
				良い>>普通>>良くない		
提案内容	事業趣旨の理解度		横浜市の豊かな海づくりの魅力を PR するという趣旨及び業務内容を十分に理解しているか。	5・4・3・2・1	2	10
	動画	企画性	横浜の海環境の魅力を効果的に伝え、イメージ向上につながる内容となっているか。 また、冒頭 5 秒で視聴者の関心を引きつける工夫がなされているか。	5・4・3・2・1	4	20
		表現力	映像構成やビジュアル面で優れ、表現力の高いコンテンツ制作が期待できるか。	5・4・3・2・1	6	30
	リーフレット	企画性	横浜の海環境の魅力を効果的に伝え、イメージ向上につながる内容となっているか。 また、使用環境を想定し、機能性はあるか。	5・4・3・2・1	4	20
		表現力	デザインや編集技術、表現力のあるコンテンツの制作が期待できるか。	5・4・3・2・1	6	30
	予算配分計画		上限額（400 万円）を踏まえ、事業内容に対し、妥当性があり、且つ効率的な予算配分計画になっているか。	5・3・1	2	10
実施体制	人員体制		業務を遂行するのに十分な人員・組織体制また実績を有するスタッフの配置等が提案されているか。	5・3・1	1	5
	スケジュール管理・情報共有		適切なスケジュール管理及び情報共有がなされる業務管理体制が提案されているか。	5・3・1	1	5
	過去の業務実績		本業務を実施するにあたり、過去に類似の広報関連業務の実績があり、ノウハウを活かすことができるか。	5・3・1	2	10
企業としての取組			次の項目を満たしているか（1 つ満たすごとに 1 点を加算）			
	ワークライフバランス、障害者雇用、健康経営に関する取組		<div><input type="checkbox"/>次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）</div> <div><input type="checkbox"/>女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）</div> <div><input type="checkbox"/>次世代育成支援対策推進法による認定の取得、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得、又は、よこはまグッドバランス賞の認定の取得</div> <div><input type="checkbox"/>青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得</div> <div><input type="checkbox"/>障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%の達成 ※達成している（従業員 40 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 40 人未満）</div> <div><input type="checkbox"/>健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得、又は、横浜健康経営認証の AAA クラス若しくは AA クラスの認証</div>	6・5・4・3・2・1	1	6
合計						146